

ただし、これからは、血はつながらなくても、同じものを大事だと思える人たちのつながり、集まりができることにより、違う形での大家族の再生、復活ができるかも…と感じます。

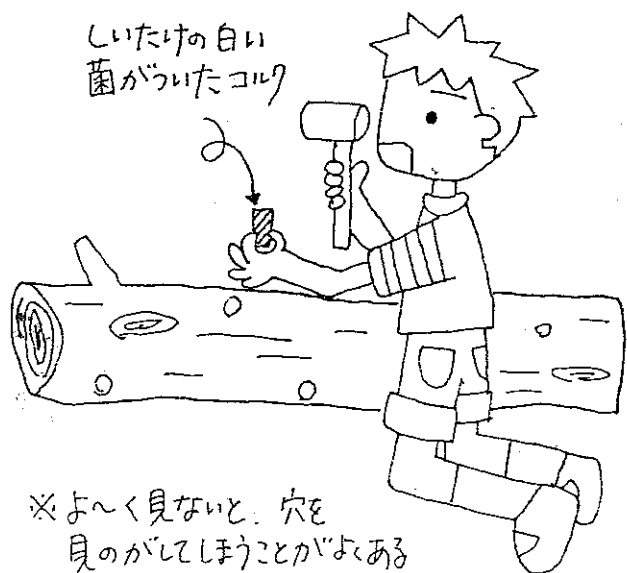
子供たちにとってもいいし、農村にとってもいいし…これこそ一石二鳥です。村と町の人たちの出会いの中で生まれたいくつかの物語。

是非読んでみて下さい。何か自分にでもできることがあるのでは…と感じて、小さいことから行動してみる。そんな人が増えたとき、きっと私たちの住む国が変わってくると信じています。

この“草原の学校”ができるまでの道のり——最初、そこに道などありませんでした。でも、仲間ができて、歩く人が多くなったことで、そこに道ができたのです。一人で始めた小さい行動が、同じ価値感を持つ人たちと出会わせてくれました。そして少しずつ形になってきたのです。

多くの農村で、“人と人”“人と自然”のあたたかい関係が結がっていくように祈っています。人のあたたかい気持ちがあるところに、自然と幸せはよってくるようです。(私の経験によりー)

みなさんの村、町、地域でも、こんな活動が広がっていけばうれしいです。



コマうち体験☆

～しいたけを育てよう!!～

- ① クヌギの木を伐る。
樹令15~20年ぐらいがちょうど良い太さ。
- ② 電動ドリルで1本の原木に50~60の穴をあける。
- ③ 種菌を植え込む作業
(コマうちと言われる。)
菌がついたコルク状のものをかなづちで穴に打ち込む。